

伊東勇一さん 藍綬褒章を受章 受章報告に来庁しました



報告後の記念撮影にて。右から大和田副団長、赤石澤団長、伊東さん、杉岡村長、高橋副村長

秋の褒章で伊東勇一さん(関沢)が藍綬褒章を受章しました。伊東さんは、飯館村消防団に昭和58年に入団、平成17年からは副分団長を務めていて、今回の受章はその消防功績によるものです。伊東さんは12月10日、赤石澤傳団長(飯樋町)、大和田保男副団長(八木沢・芦原)と来庁し、杉岡村長らに「家族の支えと団の皆さんのおかげです」と受章を報告。また、「村を守りたいと活動を続けてきました。入団者を増やし思いを伝えていきたい」と継承への意欲も話していました。

議員として貢献された 26年間に敬意を表します



立派な額の中での勲記と勲章が、受章の証です。写真は、受章報告に同行した妻のタツ子さん(右)と

11月3日付で国が発表した「令和3年秋の叙勲」。村では、平成元年から平成28年まで、7期26年の永きにわたって村議会議員を務めた佐藤長平さん(宮内)が、「旭日(きよくじつ)双光章」を受章しました。旭日双光章とは、長年の地方自治の功績に対して贈られるものです。12月8日、内堀雅雄福島県知事から表彰伝達を受けた後、受章報告のためご夫婦で来庁されました。多くの方からお祝いの言葉が届き、「支えてくれた方々のおかげです」と感謝を述べました。

老人クラブ活動での功績に 感謝状・表彰状を伝達



伝達式が行われたいちばん館のホールで、杉岡村長から県知事感謝状を受け取る菅野益夫さん

12月6日、いちばん館で、第34回「福島県高齢者福祉大会表彰受賞者伝達式」が行われ、飯館村老人クラブ連合会の元会長・菅野益夫さん(関根・松塚)に県知事感謝状、前会長・菅野敬さん(関根・松塚)に県老人クラブ連合会長表彰状が伝達されました。お二人は避難の間も、会員のつながりが失われないよう様々な活動を牽引しました。伝達式の後には同連合会の役員研修会が開かれ、杉岡村長、齋藤千恵子県老人クラブ連合会事務局長が講演を行いました。

「わくわく農業体験塾」で ハクサイ・ダイコンを収穫



収穫作業も齊藤さんの(中央)指導を受けながら。立派なハクサイ・大根を収穫しました

7月にスタートした「わくわく農業体験塾」、秋に定植したハクサイとダイコンが実り、12月初めに収穫を行いました。今年はベテラン農家・齊藤次男さん(深谷)の指導を受けながら、キュウリや枝豆・ナス・トマト・トウモロコシ・サツマイモなど様々な野菜作りに、13人の塾生が挑戦しました。この日収穫したハクサイとダイコンは、細杉今朝代さん(前田)の指導で豚汁と即席漬けに。塾生らは採り立ての野菜の味に舌鼓を打っていました。今年の収穫はこれではほぼ終わり、塾ではこれから、漬物や凍み餅などの加工食品づくりを学ぶ予定です。

街頭での呼びかけで 事件・事故を防ぎます



啓発グッズとして、夜間に光る反射材や防犯メッセージ入りの入浴剤などを配布しました

12月13日、「いいいて村の道の駅までい館」と金融機関で、『年末の事件・事故防止に係る街頭キャンペーン』が行われました。この日は、飯館村防犯指導隊(渡邊富士男隊長/飯樋町)、飯館村交通安全指導隊(木幡保雄隊長/宮内)、大林組、南相馬警察署飯館駐在所の警察官ら約30人が、金融機関の従業員や来店客に啓発グッズを手渡し、防犯や交通安全を呼びかけました。開催式では、杉岡村長や佐藤靖高南相馬警察署生活安全課長が、隊員らに感謝を伝えました。

今年2回目のテニス教室で 寒さに負けない体づくりを



子どもからお年寄りまで幅広い年代の方が参加し、寒さにも負けず元気にプレーしました

12月4日、「いいいてスポーツ公園」で、第2回「テニス教室」が開催されました。これまでの事業が好評だったため、今年初めて2回目も開催されました。冬の寒い時期にもかかわらず、村内外から世代を超えた18人が参加。硬式の講師は南相馬市の佐久間光弘先生、軟式の講師は村役場テニスクラブのメンバーが務めました。新型コロナウイルス感染拡大予防のためマスクをつけての開催でしたが、参加者の皆さんは生き生きと楽しそうにプレーしていました。